



イナシキライド

報告者:伊藤歩
2022.3.31

稲敷市サイクルツーリズム推進担当 伊藤歩（通称：ムーサン）です。
昨年度、提案・実施した稲敷市自転車PRタイトル「イナシキライド」を
活用し、いくつかのプロジェクトを展開しました。その内容を中心に一年
間の取り組みをご報告いたします。

目次

- ・イナシキライド ツアー開発事業 1
- ・イナシキライド PR動画制作事業 10
- ・イナシキライド サイクルサポートステーション整備・増加事業 11
- ・イナシキライド PRグッズ開発事業 12
- ・地域コーディネーター研修について 13
- ・その他の活動 14
- ・今後の展開 15

イナシキライドとは？

稲敷市では2020年から2023年までの第二次稲敷市総合計画中期基本計画内の重点項目として、サイクリング環境整備事業を進めています。その一環としてサイクリング事業の「顔」となるトータルデザインをリニューアルしました。



◎コンセプト：「稲敷を乗りこなそう！」

稲敷市の身近で豊かな自然環境は大きな観光資源です。サイクリングをはじめ、釣り、カヤック、キャンプ、バードウォッチングなど野外アクティビティが充実しています。自転車に乗るという意味での「イナシキライド」を超え、自然環境を中心に人や文化など「稲敷を丸ごと体感し、乗りこなしてほしい」という願いを込め、名付けました。*RIDEには「乗りこなす」という意味があります。



稲敷市のコンテンツを一つの場面として表現

ツアー開発事業

イナシキライドの一環として、稲敷市を中心に自転車で地域を知るツアーを年間通して開催し、稲敷でのサイクルツーリズムの可能性を探りました。特に稲敷市の特徴を生かしたアクティビティ（カヤック、農業、漁船）と自転車を組み合わせた複合アクティビティツアーに取り組みました。

今年度の実績

企画数 : 15回

催行数 : 10回

参加者総数 : 67人

- #1 3/27 サイクリング&カヤック
- #2 4/17 サイクリング&カヤック
- #3 5/2 サイクリング&カヤック
- #4 5/22 サイクリング&フィッシング
- #5 6/5 サイクリング&カヤック
- ~~6/19 サイクリング&カヤック(天候)~~
- #6 7/10 サイクリング&カヤック
- #7 7/23 サイクリング&カヤック
- #8 7/24 サイクリング&カヤック
- ~~8/28 サイクリング&カヤック(コロナ)~~
- ~~9/18 カヤック親子体験会(コロナ)~~
- ~~9/25 サイクリング&カヤック(コロナ)~~
- #9 10/23 サイクリング&農業体験
- #10 11/13 サイクリング&カヤック
- ~~12月18日 サイクリング&漁船(天候)~~

【ツアー開発の目的】

- 1、稲敷市の地域資源の発掘と活用
- 2、稲敷市内、事業者の利活用促進
- 3、稲敷市レンタサイクルの活用事例の創出

【各企画について】

このツアー開発は、移住促進や関係人口の創出の観点から、①有人でのガイド、②少人数（6名程度）での運行、③地域住民とのコミュニケーションの誘発を設計ルールとして、**丁寧に地域資源に触れる体験の提供**を目指しました。規模は小さいですが、参加した一人一人が稲敷についてポジティブなイメージを持ってもらえる機会になることと事業を収益化することが大きな目標です。

【コースについて】

コースは、昨年度作成した市内のサイクリングコースをベースに20～30キロ程度の長さとししました。初心者や普段あまり自転車に親しんでいない方でも参加しやすい設定としました。和田公園を中心とした浮島エリアで最も多く開催しました。また、潮来市や千葉県香取市を含めた「チバラキエリア」での実施も行いました。

また、市内サイクルサポートステーションへの立寄や昼食利用を強化し、売り上げへの貢献、認知度の向上につなげています。

【参加者について】

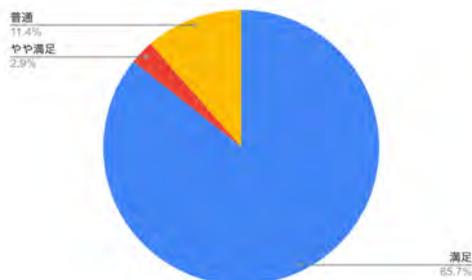
今年度は、属性に関係なく多くの方から意見を集めたいという方針のもと、企画前半は、市内、市外は問わず親子、ファミリー、カップル、夫婦、など様々な方に参加していただきました。企画後半は、ターゲットを設定し、特に首都圏親子向けの商品開発を進めていく方針が固まりました。



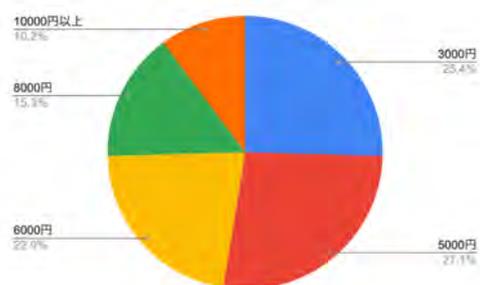
さまざまな方に
稲敷を乗りこなして
もらっています

【参加者の反応 | 対象者67人】

今回のツアーの満足度（5段階）を教えてください。



ツアーに値段をつけるといくらが妥当ですか？



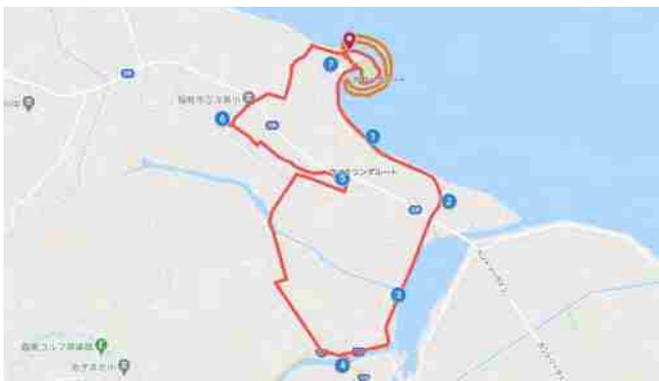
値段は企画が違うため正確な比較はできないが、5~6000円が多い。演出やターゲットをきちんと設定したツアーほど金額は上がる。今後は8000円~10000円以上のツアーを目指したい。

ツアー開発 | ダイジェスト



3/27 サイクリング&カヤック

複合アクティビティ第一弾は、サイクリング+カヤックを実施しました。サイクリングは平坦、カヤックも静水なので初心者向けのコース設定ができます。主に稲敷市在住の方がされましたが、このようなツアーは経験がなく、カヤックから見える景色やサイクリングの気持ちよさへの意見が多く聞かれました。



和田公園発→【カヤック】浮島小袖が浜→【自転車】松屋ボート（昼食）→尾島神社→スーパー神崎屋→和田公園着



霞ヶ浦は静水+遠浅なので、簡単なレクチャーを受ければ誰でも楽しむことができます！



霞ヶ浦は静水+遠浅なので、簡単なレクチャーを受ければ誰でも楽しむことができます！



5/22 サイクリング&フィッシング
 5月はまちづくり推進課が主催し、市内親子向けのツアーを実施しました。自転車を使って親子で釣りに行こう！という企画です。あいにくの天気でしたが、魚釣りをしたことがないお子さんが多く、本物の手応え、魚のリアルさに驚いたり、魚釣りが楽しかった、また参加したい、という意見が多く聞かれました。



和田公園発→【自転車】レンコンロード→【釣り】北野田名川→桜川公民館（昼食）→西ノ洲→和田公園着

親子対抗ブルーギル大会は大盛況、1時間あまりで16匹釣れた親子も。釣れる体験を優先し、ブルーギル釣りを選定しました。

釣り大会には景品を用意。乗馬体験や市内温浴施設利用券など、稲敷を親子で楽しめる体験商品を選びました！昼食、おやつもオール稲敷で提供



6/5 サイクリング&カヤック

6月は、稲敷を飛び出して、チバラキエリアでのサイクリング&カヤックを実施しました。広域連携しエリアとしての魅力の創出を検討しました。遠方から参加者は、コロナ禍でのストレスを分散できたという意見と同時に都内からアクセス、集合時間などの工夫が必要との指摘がありました。天候に左右されづらいカヤックルートを設定し、やや風のある中でも安定した運行ができました。



佐原のあやめ園では香取市地域おこし協力隊の齋藤さんに施設ガイドをお願いしました。



瀬谷隊員ゲストハウス発→【カヤック】洲ノ野原1周→【自転車】北斎遊学館（昼食）→佐原あやめ園→SDGマリン→ゲストハウス着



潮来市牛堀にある北斎遊学館での食事は、川沿いの風景を含めて満足度の高い意見が多く出ました。昼食の選定は非常に重要だと学びました。



7/10_24 サイクリング&カヤック

7月は、今まで取り組んできたサイクリング&カヤックを様々な条件を変えて実施しました。

全体としては本格的な夏場を迎え、水遊びとしてのカヤックへの人気が高まりました。水面から見る景色に感動する意見が多く寄せられました。

①土日連続で開催

②親子対応型のプログラム

③ペット同伴対応型のプログラム など
受け入れ参加者層の検討を行いました。

①は、概ね対応可能だと判明しました。

②は距離設定や二人乗りカヤックの提供、サイクリングorカヤックのみの参加、昼食だけの参加などを試しました。セミオーダー的な対応は好評でしたが、スタッフのオペレーションが煩雑になることもあり、プライベートツアーのような形での提供が望ましい、という結論になりました。

③ペット愛好者からの要望に応え、カヤックツアーに参加してもらい、好評でした。ただこれも参加者自体のスキルに頼る部分も多く、リスク管理をした上での対応や企画開発が必要だと感じました。ただ、可能性やニーズはありました。



2人乗りのカヤックを導入しました。稲敷を舞台に親子時間を作っていただきました。



水に慣れている犬なら最高の遊び場になります。



目を閉じてカヤックセラピー



10/23 サイクリング&農業体験

8月の猛暑はサイクリングイベントは避け、9月は緊急事態宣言があり、10月からの再開となりました。10月からの3ヶ月は、家族時間や親子時間を提供するプログラムづくりに注力しました。第一弾は浮島レンコン掘りとシラウオ丼づくりを楽しみながら体験する企画でした。



募集ビジュアルもポップに展開



農家から直接聞く、れんこんレクチャー



手掘りレンコン掘り体験、子どもは夢中に！



シラウオの選別作業を擬似体験



みんなで調理してご馳走の完成！



11/13 サイクリング&冒険

11月は親子での「地域探求」をさらに深めてもらいたいと冒険感を演出した企画を実施しました。サイクリング、カヤックを使って、各地の立寄ポイントでクイズに答え、ポイントをゲットする方式で、いなすけグッズをプレゼントしました。コンテンツ自体への満足度は高かったです。1日のプログラムを設定は長いという意見が多く、今後は、半日程度のプログラムの開発を進めます。



募集ビジュアルも冒険風に。

学校メールも活用し、市内小学生に周知



ハネヤスメ発→【自転車】浮島一周→ハネヤスメ着/宮本商店(昼食)→【カヤック】新利根川5キロ



桜川・宮本商店での昼食。シラウオ丼とヨドのつみれ初体験！！



クイズ形式での進行は子どもの興味持続に効果的



PR動画制作事業



広報活動の展開として、市内を自転車で巡りながら地域資源を紹介する動画を制作しました。担当課である、まちづくり推進課と相談しながら企画の立ち上げ、コンセプト作り、構成提案、撮影地候補選定、などを担当しました。イナシキライドメインキャラクター、「稲敷・ライド・五郎」（7代横綱 稲妻雷五郎をモジった）が自転車で市内を回りながらスポットを体験しながら紹介する動画になっています。



2分程度の動画を4本制作しました。釣りやを紹介した【アクティビティ編】、大杉神社や横利根閘門などを紹介した【観光編】、江戸崎かぼちゃや浮島レンコンなどを紹介した【特産品編】、サイクリストに嬉しい【甘味処編】としました。来年度から各イベント、サイネージ等で利用予定です。



サイクルサポートステーション事業

稲敷市のサイクルツーリズム事業の一環として、市内の飲食店を中心にサイクルサポートステーションを展開しています。サイクルサポートステーションとは、自転車で訪れた観光客に向けて、自転車ラック、空気入れ、携帯工具、などを市から貸与し、立ち寄りやすい空間作りをする取り組みです。

今年度の追加事業者

- 1、一遊
- 2、カフェポニー
- 3、平家

着任時からの追加数：10件

サイクルサポートステーション総数：37件

PRグッズで視認性UP

サイクルサポートステーションには、リニューアルしたデザインを用いたステッカー、ノボリなどを配布し、サイクリストへの視認性を上げる取り組みをしました。店内ではイナシキライドサイクリングマップを掲示していただき、市内周遊観光へのきっかけづくりを行なっています。

今後の展開

- 1、サイクリスト側、事業者側への相互理解への情報提供（紙媒体、SNS等）
- 2、ツアーでの立寄先として積極的に店舗等を利用することでの市内事業者の認知度の向上
- 3、コース上などで未加入店舗への事業紹介

①イナシキライド



②サイクルサポートステーション



③レンタサイクル



テキサス（江戸崎）



こうのの大福 | 鴻野菓子店（桜川）



セブンイレブン稲敷古渡店（桜川）

PRグッズ開発



ポロシャツ・Tシャツ

イナシキライドの認知度の向上を目指し、まちづくり推進課との協働で、イナシキライドロゴを活用したグッズ制作に取り組みました。開発した商品はツアーイベントなどで使用しました。今後もサイクリングイベントなどで活用する予定です。



スマホケース



缶バッジ（職員手作り）



名刺



反射ストラップ

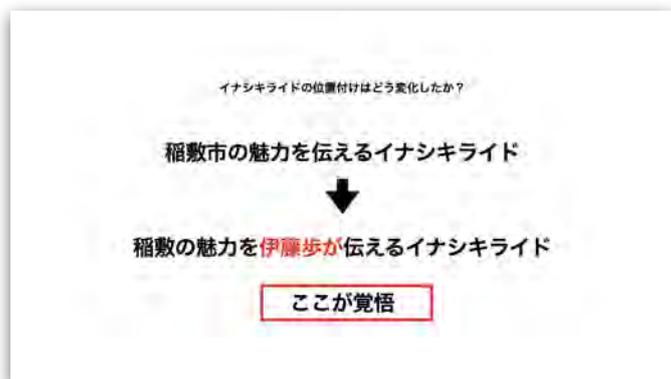
地域コーディネーター研修について

茨城県からの支援を受け、地域コーディネーター研修として「さとのぼ大学」を半年間受講しました。このプログラムは自分自身を見つめ直しながら、地域での仕事の作り方や地域との関わり方などのレクチャーを受ける完全オンライン形式の研修です。

期間：4月～10月末 週3回 3時間

イナシキライド事業を自身の事業として昇華するために講義に参加しました。稲敷市の自転車事業として提案し、取り組み始めたイナシキライドは、私にとってはどんなものを半年間かけて様々な角度から捉え直しました。

↓最終発表から抜粋↓



自転車事業の中でも、特に興味のある部分は、自転車ツアーの取り組みでした。私自身の過去の経験などから、直接参加者に言葉を伝えることにやりがいを感じていることがわかり、「ガイド」という仕事に魅力を感じるようになりました。同時にそうした形で地域と関わるのが私にとっての地域おこしだ、ということも整理されました。

私の答えは私の中に存在する

家族の旅×自転車

家族のスピード感を感じる装置

妻、子ども2人と移住していることもあり、家族時間をどう過ごすか？という自身のテーマと自転車事業がつながりました。家族時間の提供の場としての稲敷をどう作れるかが、今後の方向性として見えてきました。



卒業証書



半年間を共にしたメンバーがイナシキライド（ツアー）にも参加してくれました。卒業後もメンバーでの交流は続き、モチベーション維持につながっています。

その他

12月16日 江戸崎中学校 ふるさと学習

全体で60名程度の生徒さんに活動を聞いてもらいました。生徒さんは、思った以上に霞ヶ浦をはじめとする自然資源を感じる機会が少ないことが判明しました。自転車を活用した子ども達への企画なども提案していきたいと考えています。



11月15日～29日 茨城県協力隊EXPO 2021

県内の協力隊合同の企画に参加しました。今年で2回目の取り組みで、県内協力隊の横連携の醸成と、これから地域おこし協力隊を目指す方の参考になる企画となりました。今年はコロナ禍ということでオンライン中心の展開になりました。テーマ別に全8回のLIVE配信をしました。

【詳しくはこちら】

<https://ibaraki-expo.wixsite.com/website>



10月23日 お試し協力隊ライド in稲敷



協力隊EXPO内の企画で自転車ツアーを実施しました。常陸大宮市と笠間市の自転車協力隊、稲敷市の土井畑隊員と連携した共同企画です。自転車ツアーの後、「もっと魅力的なツアーにするには？」という問いを参加者が考えるワークショップを組み合わせ、研修プログラムのような形で実施しました。また、この事業をきっかけに、県内全体へのネットワーク形成ができつつあります。

毎週月曜日16:00 笑遊館出張所LIVE



同期の土井隊員との共同企画です。コロナ禍で直接会えない期間が増える中、県内協力隊を中心に月曜日の1時間、フリートークをしながら情報交換する場を作りました。県内協力隊、他県協力隊、稲敷市民の方、業種つながりの方など、**2021年3月までに34回実施**しました。人脈が広がるメリットの他、オンラインスキル（オンラインで場を作る）の向上にもつながっています。

【動画はこちらから】 <https://onl.sc/DYXLvP8>

今後の展開

ツアーの収益事業化

1、サイクリングツアー

稲敷市各地区にある地域資源を生かし、サイクリングツアーの開発・実施をさらに進めます。また稲敷を中心とした広域でのルート開発、特に利根川をはじめとする川沿いのルート開発に関わっていきます。

2、複合アクティビティツアー

キャンプ・カヤック・釣り・野鳥観察・乗馬などサイクリング以外でも気軽に自然を満喫できる環境が稲敷市には整っています。和田公園周辺を中心に、事業者として独立していく土台作りを進めていきます。

3、親子・家族向けツアー（ターゲットツアー）

今年度のツアーでのご意見・また私が2児の父という経験から、稲敷市のサイクリング環境は、家族の週末時間の創出にメリットが大きいと感じました。地域内外で活用してもらえるツアー提案を進めていきます。

4、学生向けツアー（ターゲットツアー）

小学校・中学校・高校生・大学生を対象に地域学習に活用できるようなプログラムを検討・開発し関係する部署へ提案していきます。（3月に大学生に実施／4月に高校生に実施予定）



親子向けツアーは装備も含めて検討中

拠点整備

ツアー事業の拠点、またサイクリングの拠点となる施設（人が立ち寄れる場所）の整備を進めていきます。

イナシキライドを活用したPR事業

自転車PR事業であるイナシキライドを活用し、動画発信、情報発信、グッズ展開などを通して、稲敷市への関心をあげていきます。

ニーズ調査

ナショナルサイクルルートであるりんりんロードについて、現在利用されている方のニーズ調査を改めて行いたいと考えています。コロナ禍もあり、不特定多数に向けての取り組みが制限されていた中、正確なヒアリング調査などが実施できていませんでした。着任前に取り組んでいた休憩所企画などを通して、稲敷エリアに必要なコンテンツを再整理し、整備に向けて動いていきます。



休憩所イメージ（井川建築設計事務所にて）

サイクリングコミュニティの醸成

庁舎内サークル サイクリング課の活動を活発化、また稲敷市民での自転車コミュニティを広げる活動に取り組みます。

